

# 11月28日 5年生 国語「提案します、一週間チャレンジ」の発表

国語の学習の中で、クラスの課題や、やってみたいことをつかみ、学校生活をよりよく、より楽しくするための取り組みを提案します。今日は、班の中からよりよい発表者を一人ずつ選んで、その代表同士がクラスの前で発表することになっていました。



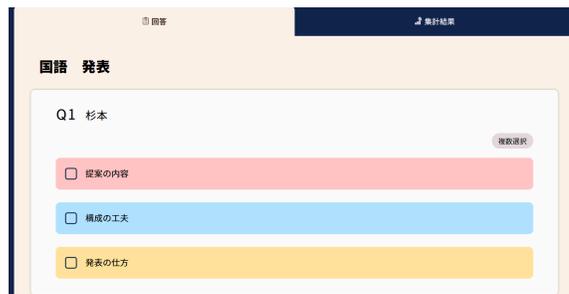
1人の児童がクラス全体に今日の流れを説明してスタートしました。  
7人の児童がそれぞれの提案をしました。

発表者ではない人は、3つの観点で、良いと思った観点到にチェックを入れて、投票できるシステムをとっていました。

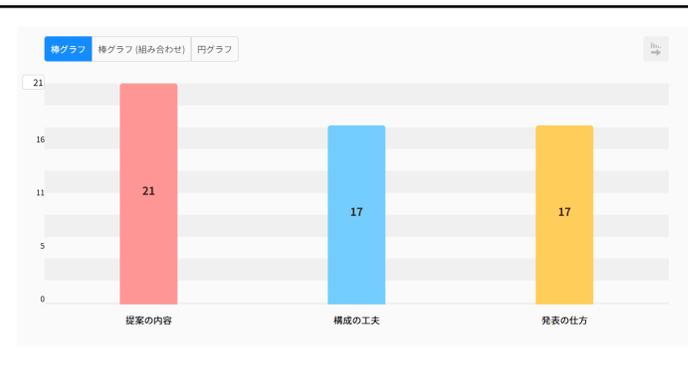
## ①提案の内容 ②構成の工夫 ③発表の仕方



ロイロノートの「テスト」の中の「アンケート」機能を使えば、クラスの子の声も簡単に集計することができます。  
様子を見ていても、5年生の児童がこうした機能を使い慣れているなあと感じた場面でした。

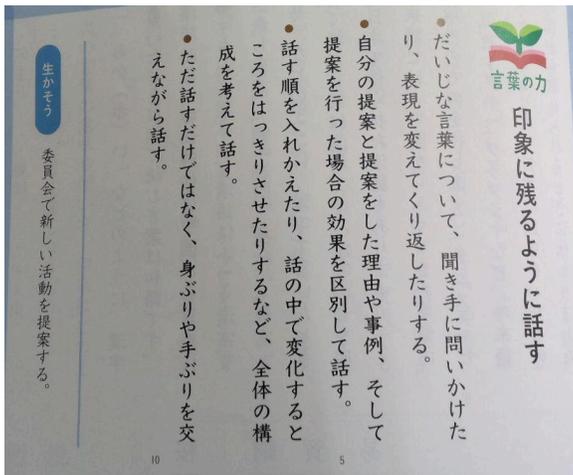


以下のようなグラフになって出てきます。





国語の教科書に以下のような伝え方のポイントが書かれてあります。



特に印象的だったのは、身振り手振りを入れて説明しようとチャレンジしていたこと、また、提案の冒頭は、聞き手への問いかけを入れているところです。中には、接続語を強調して「だ・か・ら！」のような話し方、目線が合うように言葉を頭に入れている児童、言葉に気持ちを込めて話している児童など、さすが5年生と思える姿を見せてくれました。

投票の結果、なんと2人が同点57ポイントでした。ここでも、どうするかみんなでも相談し、アドバイスタイムを取ったのち、もう一度、2人の提案を聞き、決選投票しました。担任の先生がいなくても、こうした普段通りの学びを続けられることに、5年生の成長を感じました。